

正誤表

●事前にお送りした 県 評価書からの修正 (本日お配りした評価書へは反映済み)

資料	項目	ページ	箇所	正	誤	説明
資料1-2	R5評価書本体	1-1-2	5	表【発熱外来受入人数】 2行目	阿南病院	← ころの医療センター駒ヶ根
資料1-2	R5評価書本体	1-1-2	5	表【発熱外来受入人数】 3行目	木曽病院	← 阿南病院
資料2-1	第3期業務実績に係る見込評価結果(事務局案)	評価結果(概要)	2	(総合評価の下) 評定区分の表	・中期目標・中期計画を... ・達成することが見込まれる ・(・・・目標値の...	← ・年度計画を... ・達成している ・(・・・年度計画値の...
資料2-2	3期見込評価書本体	1-1-2	4	表【発熱外来受入人数】 2行目	阿南病院	← ころの医療センター駒ヶ根
資料2-2	3期見込評価書本体	1-1-2	4	表【発熱外来受入人数】 3行目	木曽病院	← 阿南病院

●7/19 第2回評価委員会 機構の実績報告書等の正誤

資料	項目	ページ	箇所	正	誤	説明	
資料2-1	R5実績報告書(本体)	(病院別)	71	こども病院の外来単価	対計画、対前年ともに下 回った	← 対計画、対前年ともに上 回った	
資料2-2	R5実績報告書別冊	1-1-5	13	(指標22) 在宅超強化型加算件数 阿南病院の値	R4 14,322 R5 12,681	← R4 2,032 R5 1,344	
		1-4-4	27	(指標54) 連携大学院に係る実績 駒ヶ根の評価区分	(評価なし)	← D	連携大学院に係る実績として入学者数を報告しているが、直近数年間は入学者数はゼロであり、毎年コンスタントに入学するものでもないため、増減で評価した場合、実績ゼロのため「D」とするか、前年度と変化しないため「A」とするかということになるが、どちらも評価としてそぐわないため、評価無しとしたい
		2-3	33	(指標67) 職員の離職率(看護職) 駒ヶ根の評価区分	A	← C	離職率については、「低いほうが成果として良い」とされるところ、誤って、高い方が良いとして評価してしまっているため、修正
		3-2-1	36	(指標73-1) 信州の医業収益 R5計画	6,622,545 千円	← 6,772,257 千円	
		3-2-1	36	(指標73-1) ここ駒の医業収益 R5計画	1,371,216 千円	← 1,494,102 千円	
		3-2-1	36	(指標73-1) 阿南の医業収益 R5計画	927,281 千円	← 888,542 千円	
		3-2-1	36	(指標73-1) 木曽の医業収益 R5計画	3,142,825 千円	← 3,285,898 千円	
		3-2-1	36	(指標73-1) こどもの医業収益 R5計画	6,719,811 千円	← 7,278,134 千円	
資料3-2	3期見込実績報告書別冊	1-1-5	12	(指標22) 在宅超強化型加算件数 阿南病院の値	R3 6,788 R4 14,322 R5 12,681	← R3 1,535 R4 2,032 R5 1,344	
		1-4-4	24	(指標54) 連携大学院に係る実績 駒ヶ根の評価区分	(評価なし)	← A	連携大学院に係る実績として入学者数を報告しているが、直近数年間は入学者数はゼロであり、毎年コンスタントに入学するものでもないため、増減で評価した場合、実績ゼロのため「D」とするか、R2年度と変化しないため「A」とするかということになるが、どちらも評価としてそぐわないため、評価無しとしたい
		2-3	29	(指標65-2) 職場満足度調査のこども 病院	(評定) B	← (評定) A	(R2: 45.1→R5: 42.9%に低下している)
		2-3	29	(指標67) 職員の離職率(看護職) 駒ヶ根の評価区分	A	← B	離職率については、「低いほうが成果として良い」とされるところ、誤って、高い方が良いとして評価してしまっているため、修正